

写真展開催

報告書

松本市カトマンズ市姉妹提携 32 周年記念事業

# 松本ヒマラヤ友好会山岳写真展

北ア・カトマンズ・ヒマラヤ 編

会場 井上デパート本店 7 階催事場大ホール

期日 R4.2/2 (水) ~ 2/6 (日) AM10:00~PM7:00  
(最終日 PM5:00 まで)

事業報告と一般公募作品による写真展

審査員・監修：NPO 法人松本ヒマラヤ友好会理事長 鈴木雅則

エベレスト前衛の峰タムセルク 6623m 撮影 鈴木雅則 MHC 事業報告写真から

主催 NPO 法人 松本ヒマラヤ友好会《MHC》 <http://www1.ocn.ne.jp/~mhfc/>  
事務局 松本市島立 4539-7 TEL47-6197 FAX47-5685 E-mail: [mhc@lily.ocn.ne.jp](mailto:mhc@lily.ocn.ne.jp)

後援 長野県 公益財団法人長野県国際化協会 松本市 松本市海外都市交流委員会  
信濃毎日新聞社 朝日新聞長野総局 毎日新聞松本支局 読売新聞松本支局 中日新聞社  
MG プレス 市民タイムス 長野日報社 長野県写真連盟



# 写真総評



## 作品各賞審査員

NPO 法人松本ヒマラヤ友好会 (MHC) 理事長 鈴木 雅則

NPO 法人松本ヒマラヤ友好会 (MHC) 主催、松本市カトマンズ市姉妹提携 32 周年記念事業、松本ヒマラヤ友好会山岳写真展は、関係各位のご後援をいただき、お蔭を持ちまして、令和 4 年 2 月 2 日(水)～2 月 6 日(月)までの日程で、松本駅前、松本市を代表する井上百貨店で、松本ヒマラヤ友好会山岳写真展—北アルプス・カトマンズ・ヒマラヤ編—と題した写真展として開催し、事業活動 30 年にわたる松本ヒマラヤ友好会の北アルプスの山岳景観、姉妹都市カトマンズ市との市民交流時に撮影した、世界文化遺産とその街造り、人々の暮らしぶり、そして青い空に輝く白銀のネパール・ヒマラヤの大自然の作品を展示する写真展—を、文化交流事業として松本で開催する運びとなりました。

この写真展に、30 年の交流で親交を深めた、友情出展者 19 名より、多くの感動作品が寄せられました。そのうちから入選作品を厳選し、64 点を展示することとさせていただきました。

今回の写真展に寄せられた作品のグレードは高く、世界最高峰のエベレストをはじめとした高峰群の雄大さ、華麗さ、神秘性などなど、素晴らしく表現されており、一方、カトマンズの市街写真は、生活模様にあふれ、庶民の暮らしぶりや、何よりもすばらしい笑顔の作品が多く、力強く生きている人々の作品が多くみられました。

作品一枚一枚を、じっくり鑑賞していただくことで、姉妹都市「カトマンズ」のなつかしさと『ネパール国』のすばらしさが、感じられてくると思います。

## NPO 法人松本ヒマラヤ友好会 (MHC) 理事長 鈴木雅則プロフィール

鈴木雅則・略歴：1950 年 2 月 21 日、東京都品川区で出生。美しい山と自然に憧れ、1973 年から松本市に移住。1982 年松本市島立において、土地家屋調査士・行政書士事務所を開設、所長として 35 年務め、法務局への登記、諸官庁への申請手続の代行業務を行う。この間、MHC を創立、姉妹都市交流、MHC 登山講習に尽力するが、2017 年、体調を壊し土地家屋調査士・行政書士事務所を閉所する。

表彰：2019 年 11 月 MHC の長年の活動に対し、市勢の発展に寄与したとして、松本市功労者表彰授与される。

2020 年 11 月 公益財団法人社会貢献支援材団から、全国から選ばれ、第 55 回社会貢献者表彰授与される。

役職歴：2022 年現在：NPO 法人松本ヒマラヤ友好会 (MHC) 理事長、MHC 活動記念館 館長、松本市海外都市交流委員会副会長、同委員会カトマンズ部会長

主な作品：「ヒマラヤの青い空とカトマンズ」市民交流 30 年の歩み I～IV 巻 「上高地の美しい自然と槍・穂高連峰縦走」写真集 I 巻、その続編として「上高地編 1 巻、槍・穂高岳編 1 巻」各写真集。姉妹都市カトマンズと山岳交流 I 巻、当該松本ヒマラヤ友好会山岳写真展報告書 1 巻の計 9 巻の全作品は、県立・長野図書館に所蔵され、各一部は永年保存され各一部は図書館で、いつでも閲覧することが出来ます。



松本市カトマンズ市姉妹提携第 32 周年記念事業

「松本ヒマラヤ友好会山岳写真展北アルプス・カトマンズ・ヒマラヤ編」

MHC 事業報告写真

— 会場 井上デパート本店 7階 期日 令和4年2月2日(水)~2月6日(日) —

期間中、姉妹都市交流のMHC事業報告写真等92点、公募からの入選作品64点、総数156点が展示されました

会場玄関入口ご挨拶写真 抜粋



1-6

民族衣装サリー



1-4

人顔のガルダ(金翅鳥)



1-3

タムセルク 6623m



1-2

さあ出発だあ!



1-1

クムジュン村と  
アマダブラム 6812m



A面事業報告写真 抜粋-1 カトマンズの世界文化遺産



2-1

旧王宮からのカトマンズ市街



2-2

ボドナート



2-3

パシュパティナート



A-1

シバ神と妻のパールバティ妃



A-2

カ市長表敬



A-3

屋根を支える方杖



A-4

シバ神の化身カルバイラブ像



A-5

火葬場

A面事業報告写真 抜粋-2 カトマンズの世界文化遺産



2-5

パタンの旧王宮前広場



2-6

チャングナラヤン



2-7

バクタプール旧王宮前広場



2-8

スワヤンブナート



A-7

男女神の石像



A-8

シバ・リンガム



A-6

ガルダに乗るビシュヌ神



A-11

釈迦の涅槃像



A-9

385 段の石階段

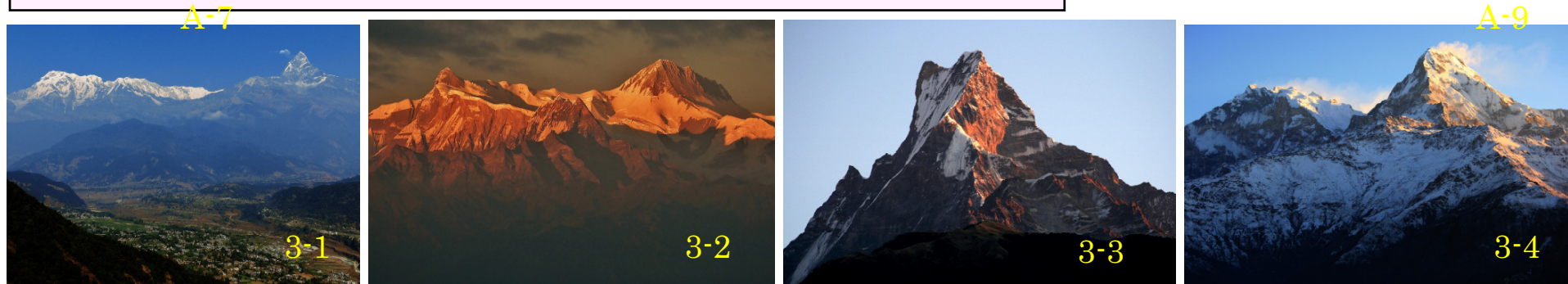


MHC事業報告出展作品 撮影MHC理事長鈴木雅則

番号	題名	備考
1-1	クムジュン村とアマダブラム先鋒6812m	
1-2	シェルパリーダー「さあ出発だあ！」	
1-3	午後の陽を浴びるタムセルク6623m	
1-4	ビシュヌ神の乗り物、人顔のガルータ(金翅鳥)	
1-5	カトマンズの街のあちこちに咲く、ブーゲンビリアの花	
1-6	ネバー-6ル民族衣装サリーを看こなす、ホテルフロント係。	
2-1	世界文化遺産カトマンズ旧王宮から望むカトマンズ市街	
2-2	世界文化遺産世界最大級のストゥーパボドナート	
2-3	世界文化遺産ヒンズー教寺院。パシュパティナート	
2-4	世界文化遺産ストゥパ様式の仏教寺院スワヤンブナート	
2-5	世界文化遺産パタンの旧王宮とその前広場に建つ建物群	
2-6	世界文化遺産ビシュヌ神を祀るチャングナラヤン。	
2-7	世界文化遺産バクタプール、18C中まで首都であった。	
3-1	サランコット1600mから展望する白銀のアンナプルナ山群	
3-2	夕焼に染まるアンナプルナⅡ、7937m。	
3-3	朝焼けに染まるマチャプチャレ、6993m。	
3-4	プーンヒルからのアンナプルナⅠ、アンナプルナサウス	
3-5	朝陽に照らされ、荘厳に輝くダウラギリⅠ峰8167m。	
3-6	釈迦の生誕地マヤ・デビ寺院の遺跡	
3-7	東門から北へ続く城壁	
3-8	機窓から展望する、ヒマラヤの夕焼	
3-9	エベレスト街道から仰ぐタムセルク6623m	
3-10	厳かに暮れ行く世界最高峰エベレストとヌプツェ	
3-11	ゴーキョピーク5360mから望むエベレスト・ローツェ	
3-12	夕陽に赤く染まるエベレスト	
3-13	エベレストに従うように聳え連なる白銀の峰々。	
3-14	ディンボチェから仰ぐアマダブラム6812mの先鋒	
3-15	エベレスト撮影紀行で活躍した、荷運びのゾッキョとその女性リーダー、笑顔が美しい。	
4-1	パタン宮廷内のダラン(通路空間)の彫刻柱	
4-2	世界文化遺産バクタプール、買い物帰りの若奥さんたち	
4-3	共同水場では、洗濯場、井戸端会議場にもなっている	
4-4	世界文化遺産バクタプールの街中、山ヤギを連れて歩く	



B 面事業報告写真 抜粋-1 アンナプルナ撮影紀行



サランコットからの展望 アンナプルナII 7937m 朝焼けのマチャプチャレ 6993m アンナプルナI 左奥 8091m



カ市長へ表敬訪問 サランコットの村 村の子供の子守 ダカ織のお買い物 山ヤギのうたたね

B 面事業報告写真 抜粋-2 釈迦生誕地ルンビニ訪問



荘厳に輝くダウラギリ マヤ・デビ寺院の遺跡 カピラ城の城壁 機窓からのヒマラヤの夕焼



子守する村人 山麓の登り 降雪の中ゴラパニへ プーンヒルに登頂 ルンビニ・マーヤデビ寺院

B 面事業報告写真 抜粋-3 エベレスト撮影紀行



夕照のタムセルク 暮れゆくエベレスト ゴーキョからのエベレスト 赤く染まるエベレスト 前衛の峰々



ネパール全図 釈迦国の居城カピラ城遺跡、東門、城壁、考古博物館 陳列した発掘時の写真 カ市長表敬訪問



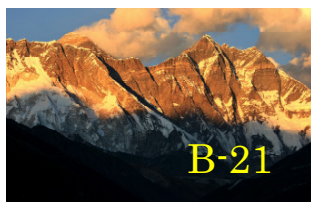
番号	題名	備考
4-5	カトマンズの老人天国。家族や幼なじみが集う小集会場	
4-6	世界文化遺産バクタプールに建つニャタポラ寺院の前、トマディトーレ広場を横切る母子。	
4-7	MHCネパール支部の学校文具慰問。松本市海外都市交流委員会も、文具慰問に合わせ訪問する。カトマンズ市長(後方)、副市長(右女性)も同席する。	
<b>A3写真</b>		
A-1	カトマンズ旧王宮広場を見下ろす、シバ神とパールバティ妃	
A-2	タマン行政長官(カトマンズ市長代理)を表敬訪問	
A-3	カトマンズ旧王宮の屋根を支える方杖の木彫り像	
A-4	旧王宮ハヌマンドカ前にある、シバ神の化身、カルバイラブ像	
A-5	パシュパティナートの火葬場	
A-6	世界文化遺産チャングナラヤン寺院に置かれた石像	
A-7	道端に立つ男女神の石像	
A-8	パシュパティナート白い小塔	
A-9	スワヤンブナートへの385段の石の階段	
A-10	スワヤンブナート森羅万象を見通す仏陀の目	
A-11	スワヤンブナートの仏陀の涅槃像	
A-12	宮殿一階の彫刻され図案化された扉	
A-13	木板に透かし彫りの孔雀の丸窓	
A-14	経文を唱え右回りに巡る巡礼者	
A-15	世界文化遺産ボドナートに設置された、大きなマニ車	
A-16	ビシュヌ神の化身ナルシングの像	
B-1	ネパールヒマラヤ位置概要	
B-2	MHCネパール文化紀行でカトマンズ市長を表敬訪問	
B-3	アンナプルナ山群を望む小高い丘サランコットの村	
B-4	村の子供たちは、妹や弟の子守をするのが役目だ。	
B-5	サランコットからの下山、特産のダカ織のお買い物	
B-6	村の道端、山ウアギも、うとうとと気持ちよさそう。	
B-7	子供を膝の上に乗せ、日向ぼっこする村人。	
B-8	ポカラから山麓を登り、アンナプルナ山群を撮影	
B-9	アンナプルナ山麓、雪が降る夕闇迫るゴラパニ2895mへ	
B-10	2011年1/1AM5:15, AM6:30、プーンヒルに14名が登頂する	



B-C 面事業報告写真 抜粋 エベレスト撮影紀行



ディンボチェからのアマダブラム ゴーキョピークからの撮影風景 ピークに全員登頂 女性ゾッキョドライブリーダー



荷物隊が先行するエベレスト撮影紀行 夕日に染まるエベレスト ナムチェバザール モーン峠 ダーンフェ

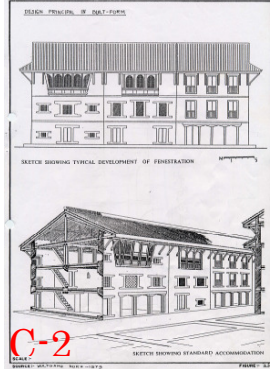
C 面事業報告写真 抜粋 庶民の生活



宮廷内のチョークとダラン 買い物帰りの若奥さんたち 共同水場 街中、山ヤギを連れていく農夫



共同水場の老婆



建物の壁横で果物店



街角の靴屋さん



店の看板娘



木彫り店



4-6

C 面事業報告写真 抜粋 庶民の生活 学校慰問 献血活動



4-5



4-7



C-10



C-11

カトマンズの老人天国 公立学校へ文具慰問 迎いの踊りを披露する MHC の献血活動

会場写真



玄関入り口壁



A面壁



B面壁



C面壁



番号	題名	備考
B-11	世界文化遺産 釈迦生誕地ルンビニに建つマヤ・デビ寺院	
B-12	ルンビニ園から北西29km離れた釈迦国の居城、カピラ城	
B-13	カピラ城発掘調査の全体図、城壁。	
B-14	ネパール全図	
B-15	カピラ城東門遺跡 釈迦は凍門から出家したと解説する管理者	
B-16	カピラ城を発掘した遺物を陳列した考古博物館	
B-17	考古博物館に陳列してある発掘時の写真	
B-18	松本市市制施行100周年記念事業カトマンズ訪問とエベレスト撮影紀行一行が、カトマン空港でカ市行政副長官から歓迎	
B-19	エベレスト街道白銀のタムセルク6623mを望み、荷物隊が先行	
B-20	撮影一行はエベレスト山群の大パノラマを望み街道を行く	
B-21	夕焼に染まる、エベレスト左8848m、ローツェ右8516m	
B-22	ナムチェバザールで、満開に咲くネパール国花ラリーグラス	
B-23	ナムチェバザール3440mの家並みとチョルテン(仏塔)	
B-24	モーン峠3979m、チョルテンとはためくタルチョー	
B-25	ゴーキョピーク5360mからの撮影風景	
B-26	松本市市制施行100周年記念事業カトマンズ訪問とエベレスト撮影紀行は、市民参加者全員のゴーキョピーク5360m登頂を果た	
B-27	標高3800mのクムジュン村の藪の中、鮮やかな色彩のネパールの国鳥、ダーンフェを発見	
C-1	共同水場で、洗濯する老婆	
C-2	カトマンズ盆地地図, 伝統的な街づくり 住宅の構造	
C-3	今日は、野菜の買い物、天秤棒担ぎは慣れたもんさ	
C-4	道路沿い、建物の壁横で果物店。結構豊富にある	
C-5	街角で、靴の修繕をする靴屋さん	
C-6	雑貨店、ショールで体を覆う彼女は、店の看板娘？	
C-7	有名な孔雀の丸窓の前の木彫り店	
C-8	宗教画曼荼羅専門店？	
C-9	カトマンズのセト・マチェンドラのネパール最大の山車	
C-10	生徒たちは歓迎の準備をして、かわいい踊りを披露	
C-11	MHCネパール支部主催の献血活動、カ市役所も活動協力	
C-12		
C-13		
C-14		



松本市カトマンズ市姉妹提携第 32 周年記念事業

「松本ヒマラヤ友好会山岳写真展北アルプス・カトマンズ・ヒマラヤ編」

入選作品

— 会場 井上デパート本店 7階 期日 令和4年2月2日(水)～2月6日(日) —

期間中、姉妹都市交流のMHC事業報告写真等92点、入選作品64点、総数156点が展示されました。

小松貞一作品 抜粋



夕日を浴びて



長い吊り橋



民族衣装の婦人

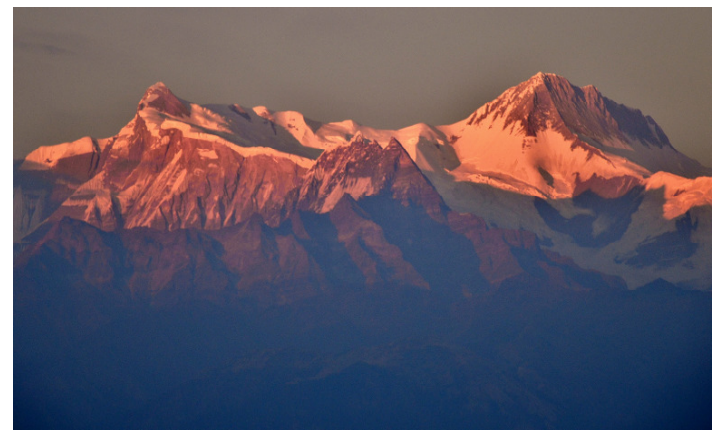
折野 和富 作品 抜粋



古都バクタプール



機織り



豊穡の女神 夕焼けノアンナプルナII

大平信一作品



荘厳に輝くギャチュンカン 7952m



雪煙上げる勇壮なエベレスト、ローツェ

甕 俊昭 作品



午後の陽に輝くタムセルク

百瀬 浩 作品抜粋



巨峰、白い山ダウラギリとツクツェピーク



白峰アンナプルナサウス



耕地天空に至る



## 入 賞 作 品

敬称略 順不同

賞	題 名	出品者氏名	住所
入 賞	夕日を浴びて	小松 貞一	松本市芳野
	長い吊り橋	同 上	
	民族衣装の婦人	同 上	
	ナムチェバザールで買い物終えて	同 上	
	土器を作る	同 上	
入 賞	古都バクタプール	折野 和富	安曇野市豊科
	機織り	同 上	
	豊穰の女神、夕焼けのアンナプルナⅡ	同 上	
	サランコットから望む白銀のアンナプルナ	同 上	
	釈迦生誕地ルンビニ、巡礼者たちのお祈り	同 上	
入 賞	日没を迎える夕刻、雪煙を噴き上げる勇 壮なエベレスト、ローツェに感動	大平 信一	木曾郡上松町
	陽をいっぱい浴び、荘厳に輝く、ギャ チュンカン7952mの偉大な姿に震撼	同 上	
入 賞	巨峰、白い山ダウラギリとツクツェ ピーク	百瀬 浩	松本市筑摩
	白峰アンナプルナサウス	同 上	
	耕地天空に至る	同 上	
	雪煙吹き上げるエベレスト	同 上	
	午後の白峰アマダブラム	同 上	
入 賞	優しいまなざし白銀のアンナプルナⅡ	海野 靖子	長野市若槻
	煙に乗って還る	同 上	
	永遠の街で楽しく	同 上	
入 賞	サリーを着た農夫	種田 敏子	安曇野市穂高柏原
	村の農夫の荷運び	同 上	
	空撮、世界の屋根、エベレスト山群	同 上	
入 賞	待望のアベンロート	林 良一	松本市蟻ヶ崎
入 賞	午後の陽に輝く、タムセルク	甕 俊昭	安曇野市穂高有明
入 賞	エベレスト夕景	大村 裕	伊那市
	祈る三聖人	同 上	
	体を清め、茶毘する用意	同 上	
入 賞	シバ・リングムが納められた白い小塔 が立ち並ぶパシュパティナート	唐沢 耕平	松本市笹部
	釈迦生誕地ルンビニ、マーヤ・デビ寺 院遺跡脇にある池と菩提樹	同 上	
	サランコットからアンナプルナ山群	同 上	
	神の山と崇められるマチャプチャレ	同 上	



海野 靖子 作品抜粋



優しいまなざしの白銀のアンナプルナⅡ



煙に乗って還る



永遠の街で楽しく

種田 敏子 作品抜粋



サリーを着た農婦



村の農夫の荷運び



空撮 世界の屋根エベレスト山群

大村 裕 作品抜粋



エベレスト夕景



祈る聖人



体を清め、茶毘する用意

林良一 作品



待望のアベンロート

唐沢 耕平 作品



シバリンガムが収められた白い小塔が立ち並ぶパシュパティナート



賞	題名	出品者氏名	住所
入賞	カピラ城の城壁	唐沢 保之	松本市笹部
	聖地ゴザイングンドに向かい、手を合わせ祈る像	同 上	
	柱、窓、壁屋根を支える方杖の、見事に精巧な彫刻	同 上	
友情出展 カラコルム巨峰	氷河帯とガッシャーブルム I 峰	内田 良平	神奈川県横浜市
	夕日を浴びたガッシャーブルム II 峰	同 上	
	朝焼けのK 2 8611m	同 上	
	雲湧くブロードピーク8057m	同 上	
	朝陽に映えるナンガプルバット	同 上	
入賞	マナスル	牧野 亘博	飯田市
	ガンカプルナ	同 上	
	ジャヌー	同 上	
	エベレスト・ロジンバトス	同 上	
入賞	早春の浅間山	荒井 初男	千曲市
	西岳より望む東鎌尾根と槍ヶ岳	同 上	
	キンコウカ 白馬鎚ヶ岳にて	同 上	
	上高地にて涼しさを楽しむ	同 上	
入賞	蒸気を上げる、焼岳山頂	上條 賢介	松本市村井
入賞	秋深まる明神岳	斉藤 正仁	松本市安曇
	厳冬の上高地から見上げる明神岳	同 上	
入賞	厳冬の浅間山	小松 佑次	松本市庄内
	霧、晴れゆく槍ヶ岳	同 上	
	冬晴れの焼岳	同 上	
	モルゲンロートの前穂高岳	同 上	
	紅色に染まる富士	同 上	
入賞	夏の穂高岳・涸沢	矢ヶ崎 垠庚	松本市井川城
	穂高岳・岩峰ジャンダルム	同 上	
	キレット越えに望む北アの盟主・槍ヶ岳	同 上	
	燕岳への登り	同 上	
	大キレット長谷川ピークへの登攀	同 上	
友情出展 秀峰燕岳への思い	燃える天空	赤沼 健至	安曇野市
	輝く朝の燕岳	同 上	



唐沢 耕平 作品



釈迦生誕地ルンビニ、マーヤデビ  
寺院遺跡跡にある池と菩提樹



サランコットからのアンナプル  
ナ山群



神の山と崇められるマチャプチャレ

唐沢 保之 作品



聖地ゴザイングンドに向かい手を  
合わせる像



カピラ城の城壁



柱、窓、壁、屋根を支える方杖の見  
事な彫刻

牧野 亘博 作品



マナスル



ジャヌー



エベレスト・ロジンバトス



ガンカプルナ

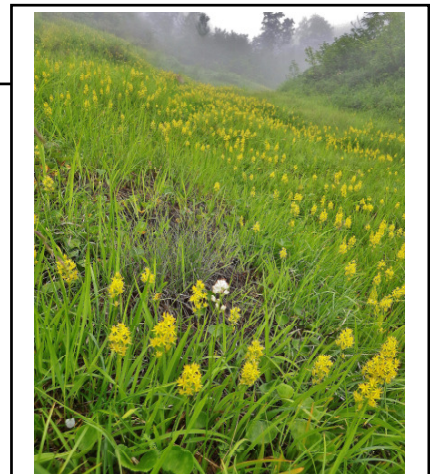
荒井 初男 作品



早春の浅間山



西岳より望む東鎌尾根と槍ヶ岳 上高地に涼しさを楽しむ



キンコウカ  
白馬鎌ヶ岳にて



上條 賢介 作品



蒸気を上げる焼岳山頂

齊藤 正仁 作品



秋深まる明神岳



厳冬の上高地から見上げる明神岳

小松 佑次 作品



厳冬の浅間山



霧、晴れゆく槍ヶ岳



冬晴れの焼岳



モルゲンロートの前穂高岳

矢ヶ崎 垠庚 作品 抜粋



夏の穂高岳・涸沢



穂高岳・岩峰ジャンダルム



キレット越えに望む  
北アの盟主・槍ヶ岳



紅色に染まる富士

赤沼健至 作品

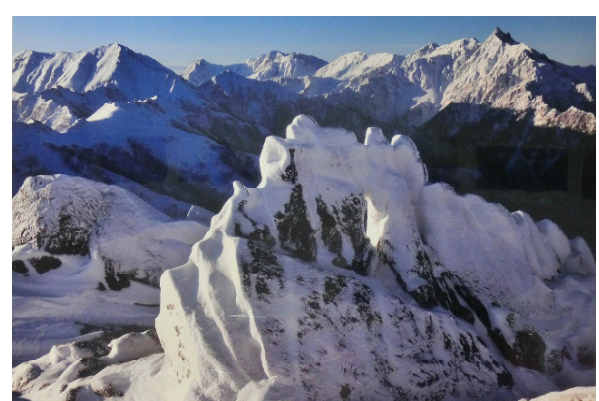
内田良平 作品 抜粋 カラコルム巨峰



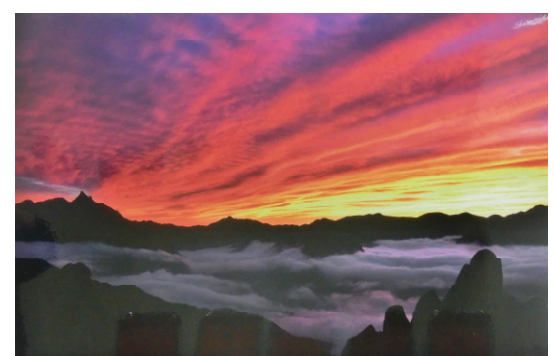
雲湧くブロードピーク 8057m



朝焼けの K2 8611m



輝く朝の燕岳岳



燃える天空





## 写真展 報告書 編集あとがき

NPO 法人松本ヒマラヤ友好会（MHC）は、1990年4月に任意団体として創立、2000年3月には、特定非営活動(NPO)法人として認証され、今年度まで30年以上にわたり、松本市と姉妹都市カトマンズとの文化・芸術交流や、国際協力事業、及び岳都共通の山岳スポーツの振興を図る活動等を積極的に実施して参りました。

そしてこの度、松本市カトマンズ市姉妹32周年記念事業、「松本ヒマラヤ友好会山岳写真展、北アルプス・カトマンズ・ヒマラヤ編」を関係各位のご支援をいただき、お蔭を持ちまして、NPO 法人松本ヒマラヤ友好会の文化交流事業活動として、JR 松本駅前の井上デパート7階催事場にて、令和4年2月2日（水）～6日（日）までの日程で、開催することが出来ました。

そして、開催日から連日、多くのご来場者を迎え、新聞各社も大きく載せていただき、地元テレビニュース番組で複数回報道するなど、広く話題を提供していただきました。

市民の皆様には、この写真展を通じ、姉妹都市カトマンズへの関心を、今まで以上にお寄せいただいたことでしょう。

カトマンズの北方に聳え立つ白銀のヒマラヤ、その麓に住む、カトマンズの人々は、畏敬の念をもって、その峰を仰ぎ、その麓から流れる出る水に体を清め、亡くなると荼毘に付し、焼かれた身体の骨灰は、この川に流され、それが至福とされる。

この川はガンジス川の源流部をなしており、インドでは大河となって、インド洋に流れていきます。2000年以上にわたり、ネパールの人々の心の拠り所となった宗教文化と、現在も残るその遺跡群。私達日本人にとっても“心のふるさと”と言っても過言でない「古都カトマズ」、「神々の座」「ネパールヒマラヤ」を紹介する写真展、いかがでしたでしょうか・・・。

この展示会を実施する事で、日本国とネパール、松本市と姉妹都市カトマンズ市との相互理解と交流の発展を心から願っています。

会場写真



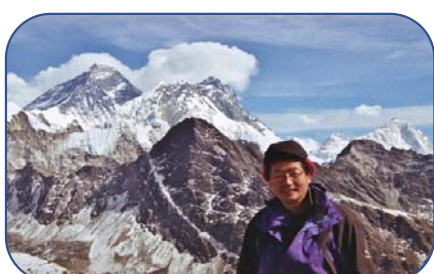
2/2 開催式典



ご来賓あいさつ



玄関受付



8000m峰三山を背景に、ゴークョピーク 5360mに立つ理事長

令和4年2月14日

特定非営利活動(NPO)法人 松本ヒマラヤ友好会  
理事長 鈴木 雅 則





カトマンズの街に咲くブーゲンビリアの花 ホテルフロントで働く民族衣装サリーを着る女性  
撮影 鈴木雅則 MHC 事業報告写真から